

第3回例会報告（2015年3月発信）

日を追う毎に、春の訪れが感じられるこの頃。皆様いかがお過ごしですか？広島支部例会も、おかげさまでこの1年の活動を大過なく終えることができました。本年度最終となる第3回例会を、3月1日（日）、30名という多くの先生方にお集まりいただき実施いたしました。

講師は、おなじみの坂本真理子先生。「(先生) オッキー、オーライ。(わたしたち) オーライ、オッキー」。さっそくラップ風にリズム運動が始まります。



今日の主要教材曲は『Dipidu』（ウガンダの民族曲）。「グッデイ・オ・ディピ・ドゥー」と歌いながら、体を動かしながら、いったいどれくらいのことを学んだでしょうか。3拍子、時間・空間・エネルギー、心の問題、実に多様です。



わたしが最も印象だったのは「リズムはいつも前に進んでいる」、
「だから、休符でも音楽を進めよう」。なるほど、演奏が生き生きと
動き出すためには、最も大切なことかも。





午後の最初には、合唱の練習も行いました。次年度は、広島支部60周年。その記念として、夏の講習会では、石井亨全日本リトミック音楽教育研究会会長をお迎えして石井先生作曲の合唱曲を参加者一同で盛大に歌いたいと思います。



来年度も多くの方々をお待ちしております。ぜひ、気軽にお越しください。